

# 演題データ(音声付きPowePointの動画化)の 作成マニュアル【Mac向け】

# 準備物

## 1. 下記いずれかのバージョンのPowerPointを搭載しているPC

PowerPoint for Mac 2019, Office365のどちらか

※PowerPoint for Mac 2011 あるいはそれ以前のバージョンでは、ナレーションを含んだビデオ作製がうまくいかなくなる可能性があります。

## 2. マイク(音声入力ができる環境)

内臓マイクでの録音も可能ですが、周囲の音声(ノイズ)も録音されてしまうため、ヘッドセットマイクなど、外付けマイクの使用を推奨します。

# 事前チェック項目

✓	注意・チェック項目
①	発表スライドは「16:9」の画面サイズを推奨します(「4:3」でも可)。
②	作成された発表用データ(PowerPoint 又は Keynote )を動画に加工するコピーファイルを作成ください。動画に加工して登録するのはコピーファイルをご使用ください。
③	発表スライドは以下の構成で作成をお願いします。 1枚目 発表テーマ 2枚目 利益相反(COI)について 3枚目 氏名、所属、写真 4枚目以降 講演内容
④	ナレーション録音するにあたって、あらかじめパソコンとマイクまたはヘッドセットが接続した状態にしてください。 マイク装備のついているノートパソコンの場合は、内蔵のマイクでもかまいません。
⑤	マイクが装備されていないノートパソコンやデスクトップパソコンを使用する場合は、外付けのマイクをつなぎ、音声の録音をお願いします。
⑥	録音の際は極力、静かな環境で雑音が入らないようお願いします。
⑦	ページの切り替わり時、ナレーションの録音はされません。ページの切り替わりを確認して音声を録音してください。
⑧	非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれます。 ご発表に使用されなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、削除または非表示スライドに設定してください。
⑨	録音の前にPowerPoint を「スライド一覧」で表示し、スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。
⑩	動画の外部リンクは使用できません。動画を使用の場合は、スライドに挿入してください。
⑪	録音が終了した後に、必ずPowerPoint または、Keynote データ(音声付きスライド)の保存も行ってください。アップロードいただく動画形式はMP4ファイルのみです。

# 講演データの作成について

## 動画に入れるスライドの選択

動画に入れるスライドを選択します。

非表示設定をしない限り、すべてのスライドが動画に組み込まれています。

プレゼンで使用しないスライドや動画に入れたくないスライドは、非表示スライドに設定してください。

# スライド準備 (1枚目:表紙)

発表テーマ

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

# スライド準備 (2枚目:利益相反開示)

- ・本会での発表者(共同発表者含む)および座長全員には、利益相反の開示が義務づけられております。開示基準その他の詳細については、下記の一般社団法人日本糖尿病学会ホームページ「利益相反(COI)の指 針」をご参照いただき、本指針に則って、開示を行ってください。

<https://www.c-linkage.co.jp/jaden26/speakers.html>

- ・利益相反開示例(演者)

すべての発表(企業共催セミナー等も含む)の筆頭発表者は、発表者全員(共同発表者含む)について開示してください。

発表スライドの2枚目(タイトルスライドの後)に、以下のいずれかの様式を使用して提示してください。

開示用スライドのひな形は、上記URL(開示スライド例)よりダウンロードしてご使用ください。

## 【申告すべきCOI状態がない場合】



**日本糖尿病教育・看護学会  
COI 開示**

発表者名: ◎研究代表者, 共同研究者 A, 共同研究者 B (全員の氏名)

演題発表に関連し、申告すべきCOI状態はありません。

## 【申告すべきCOI状態がある場合】



**日本糖尿病教育・看護学会  
COI 開示**

発表者名: ◎研究代表者, 共同研究者 A, 共同研究者 B (全員の氏名)

演題発表に関連し、申告すべきCOI状態は、以下のとおりです。  
X会社  
Y会社

# スライド準備 (3枚目: 氏名、所属、写真)



XXXX病院 XXXXXXXXX

XXXXXX

山田 太郎

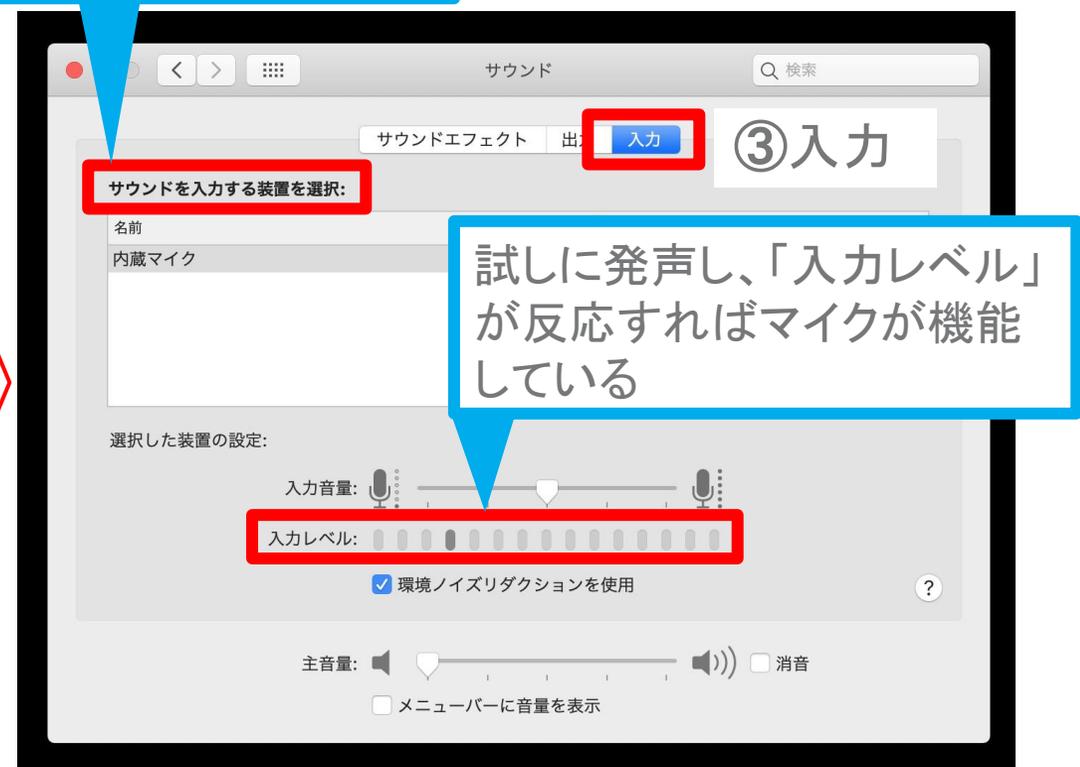
# マイクの確認方法

「システム環境設定」→「サウンド」→「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。

「選択した機器の設定」では試しに発声し、反応することを確認します。



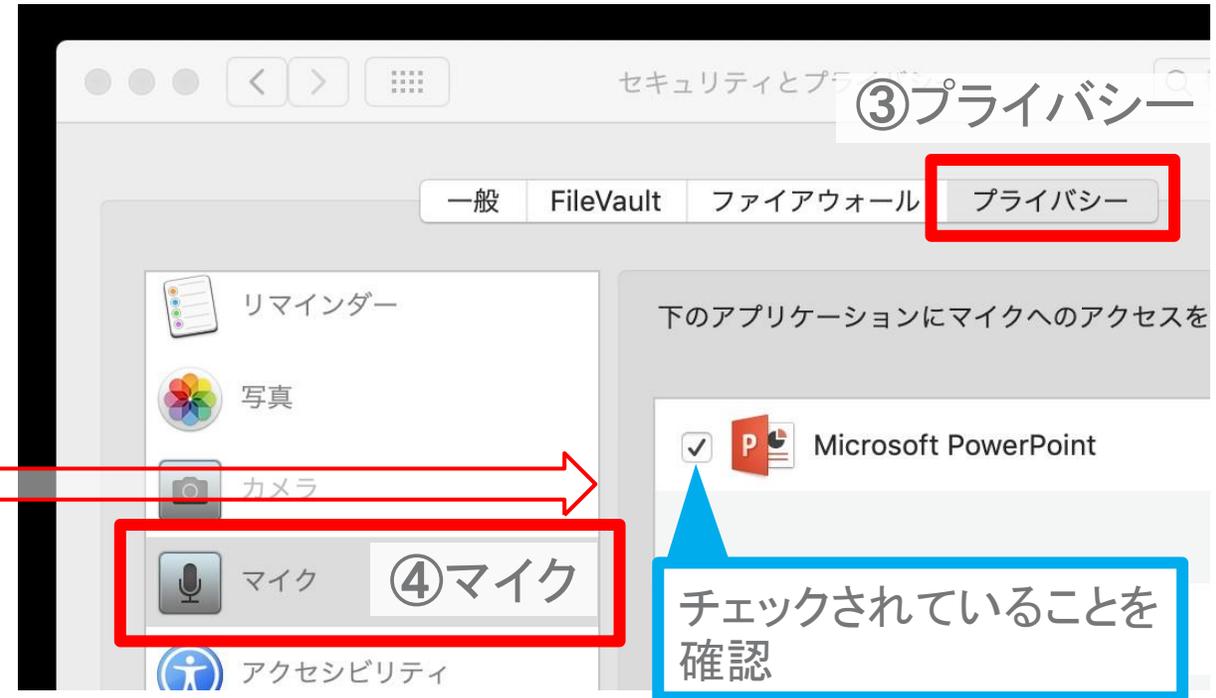
登録されていることを確認



# PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」→「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。

## ①システム環境設定

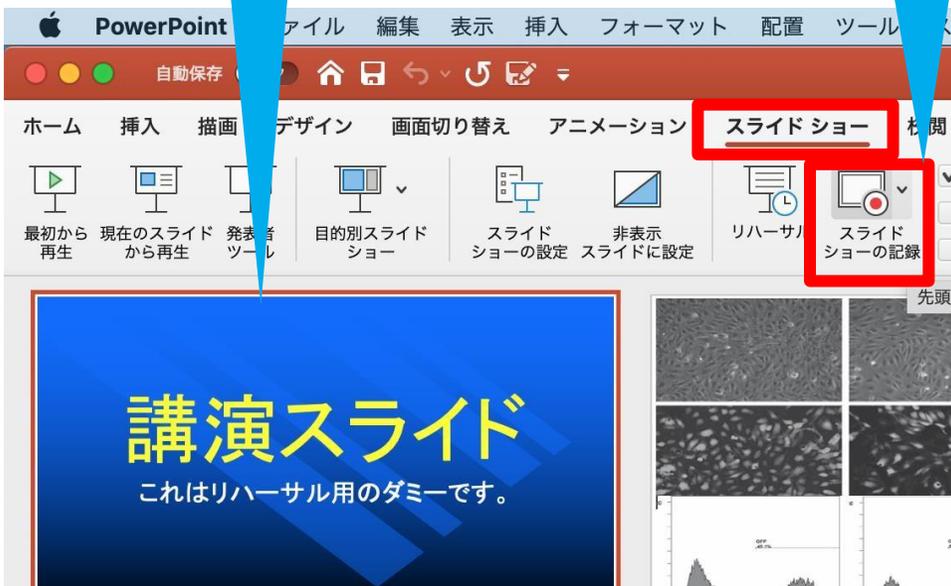


# PowerPointでの録音の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されていることを確認します。「スライドショー」→「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録音が始まります。

1枚目が選択されている状態であることを確認

カーソルを合わせたときに「先頭から録音を開始」という注釈が現れる場合がある



クリックすると画面が切り替わり録音が始まる



# スライドショーの実施

通常通り、スライドショーを行ってください。

ペンやポインター等も使えますが、最終的に動画で記録されるのは、スライドを送るタイミングと音声のみです。

タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください。

また、前のスライドに戻ると、戻ったスライドの録音が上書きされますので注意してください。



メニューから、ペン、蛍光ペン、ポインターを使用をしても、記録されません

# スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると「今回のタイミングを保存しますか?」という質問が現れるので「はい」を選択します。

The screenshot shows a PowerPoint presentation in slide show mode. The current slide is titled "Summary" and contains text about endothelial injury and atherosclerosis. A dialog box is overlaid on the slide, asking "スライドショーの所要時間は 0:00:11 です。今回のタイミングを保存しますか?" (The slide show duration is 0:00:11. Do you want to save the timing for this time?). The dialog box has two buttons: "いいえ(No)" (No) and "はい(Yes)". The "はい(Yes)" button is highlighted with a red box. In the top-left corner of the slide show, there is a small icon labeled "スライドショーの終了" (End Slide Show), which is also highlighted with a red box. A blue box with the text "「スライドショーの終了」" points to this icon. Another blue box with the text "「はい」をクリック" (Click "Yes") points to the "はい(Yes)" button. At the bottom of the slide show, there is a navigation bar with a slide thumbnail labeled "経過 ①" (Progress ①) and a red box containing the text "※最後のスライドで発表が終了した後、10秒程度の間隔を開けてから録音を停止してください。" (After the presentation ends on the last slide, please wait about 10 seconds before stopping the recording.)

「スライドショーの終了」

Summary

Endothelial injury represents a major initiating step in the pathogenesis of vascular disease and atherosclerosis. The identification and quantification of circulating endothelial cells (CECs) as a novel marker of endothelial function. As a technique, it correlates with endothelial function such as flow-mediated dilation, the measurement of tissue plasminogen activator. Quantification of CECs is difficult due to their morphology, and a lack of standardization in current techniques used to quantify CECs in a population of cells to endothelial progenitor cells. Increased CECs have been associated with disease states and is evolving as a novel method of assessment of both disease severity and response to treatment. This chapter describes a method that permits simultaneous measurement of leukocyte-endothelium interactions and endothelial nitric oxide (NO) levels in the microcirculation in vivo. The method is also useful to study the effect of NO replenishing therapy on adhesion of leukocytes to the vascular endothelium in acute and chronic inflammatory states of the cardiovascular system. This research approach requires the combination of two well-established physiology techniques, that is, intravital microscopy and real-time measurement of NO with microelectrodes. Intravital microscopy is considered the method of choice to monitor leukocyte-endothelial cell interactions in intact vascular beds of live animals. In vivo microscopy is currently used to study the endothelial cell phenotype of mice carrying mutations or deletion of targeted genes. Intravital microscopy is also used to study endothelial cell function in acute (e.g., ischemia-reperfusion injury) and chronic (e.g., hypercholesterolemia, hyperglycemia, and diabetes) inflammatory states of the cardiovascular system. NO sensors allow for continuous, amperometric quantification of NO levels in cells and organ tissues. Coupling of NO electrode technology with intravital microscopy has recently

スライドショーの所要時間は 0:00:11 です。今回のタイミングを保存しますか?

いいえ(No) はい(Yes)

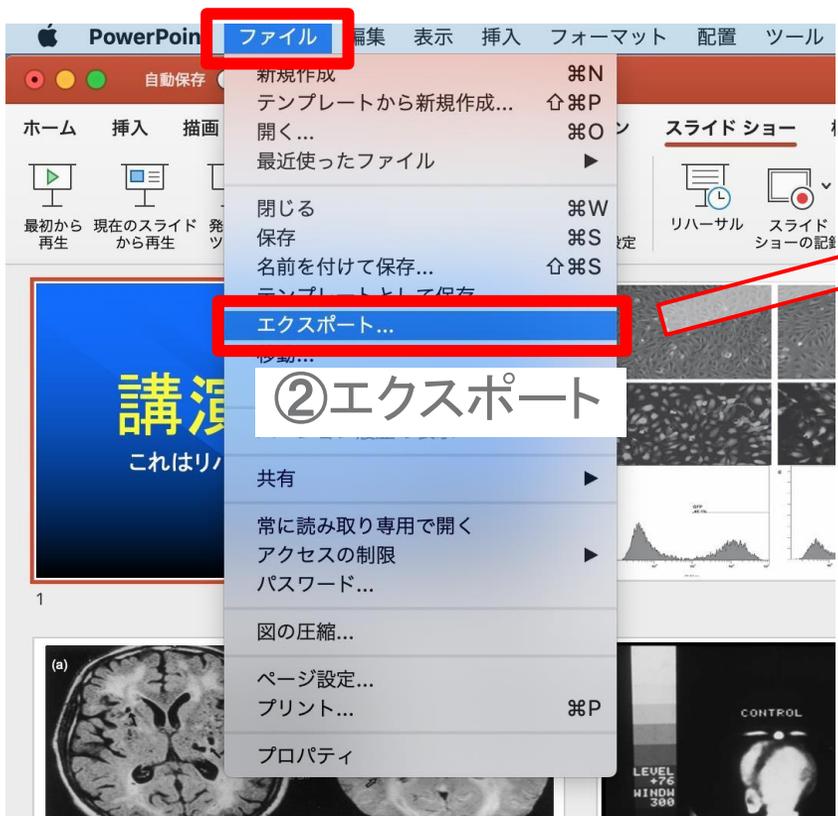
「はい」をクリック

※最後のスライドで発表が終了した後、10秒程度の間隔を開けてから録音を停止してください。

# 保存先の選択

「ファイル」→「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式で「MP4形式」を選択すると、詳細が設定できるようになります。

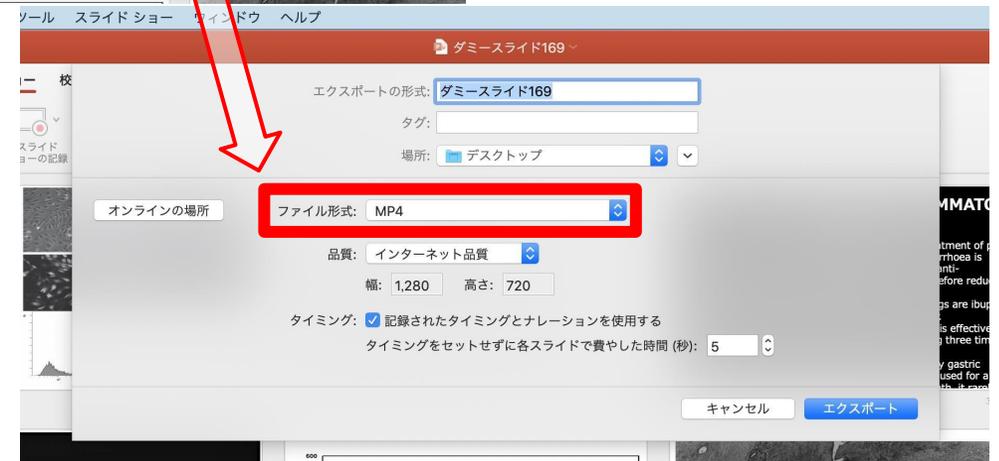
## ①ファイル



## ②エクスポート



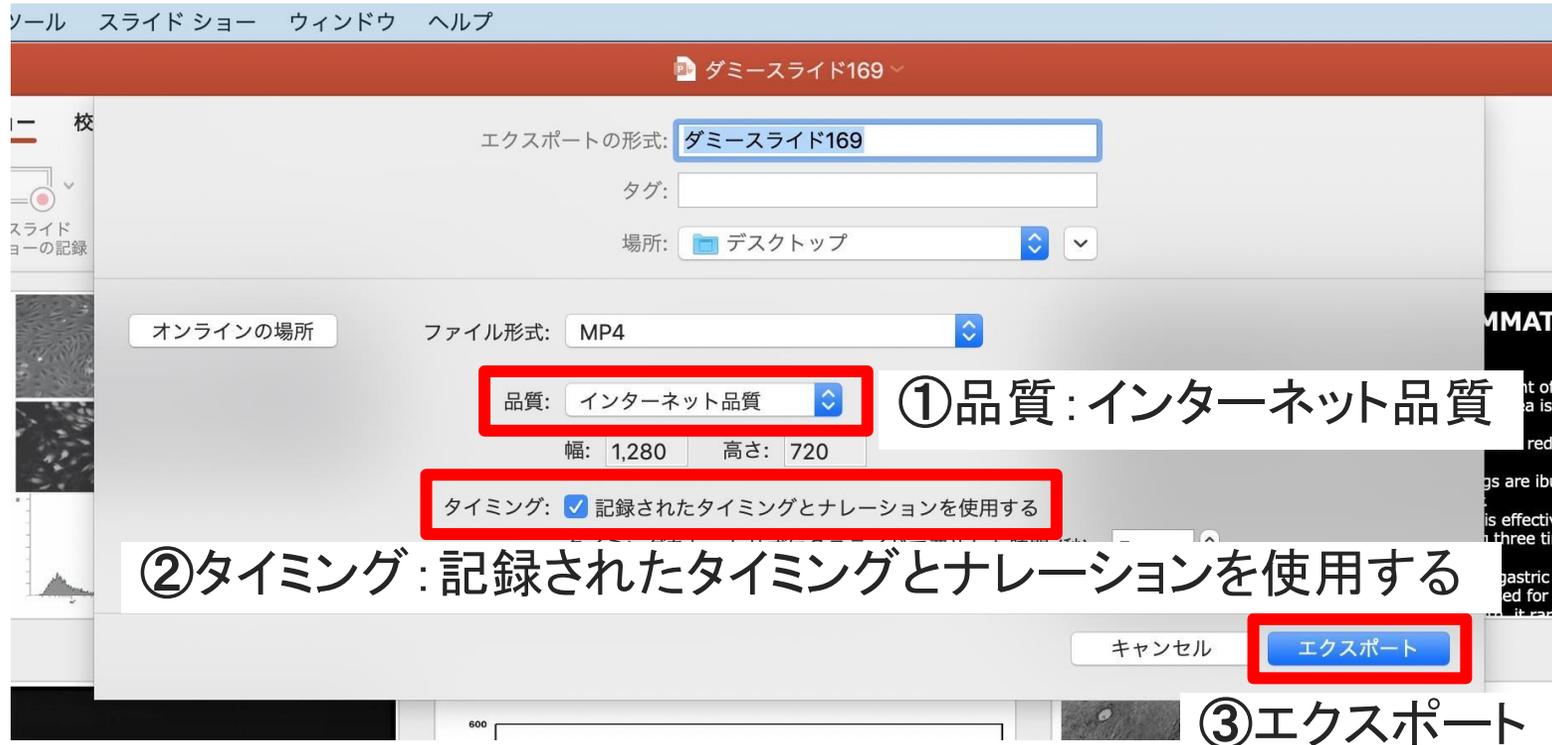
## ③ファイル形式:MP4



# 品質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質(1280×720)」を選択し「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。

(インターネット品質を選択できない場合には近似値のものを選択)  
「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



動画作成の進捗は、  
右下に表示される

20分のスライドショーから  
HD画質(1280×720)の  
動画を作成するのに  
約10分かかる

変換しています: ビデオ ダミースライド169.mp4 をアップロードしています

# 品質の選択、動画作成と保存

## ※スライドサイズに関するご注意

「デザイン」タブから、スライドサイズを4:3→16:9に修正いただくと、ビデオ解像度[1280 × 720]を選択いただけるようになります。

ただ、最初から16:9で作成されていればよろしいのですが、すでに4:3で作成されたものを16:9に修正いただくと、スライド内容にゆがみがでてくるようになります。

もしよろしければ、4:3のままでもかまいません。

(受講者が最大画面で閲覧した際、縦か横に黒い線が入りますが、それはかまいません)  
先生のご無理のない方で、どうぞよろしくお願いいたします。